

育成委員会だより みやまえ

第24号

令和5年3月

宮前青少年育成委員会

発行責任者 多々納 誠子

みんなの笑顔を地域に！



地域に生きる子どもたちを育てる

杉並区立高井戸第二小学校 校長 柴田 紀子



4月より高井戸第二小学校に校長として着任しました。本校は今年創立122年を迎えました。学校に残されている、これまでの歩みを振り返りますと、長年地域の方に支えられてきた伝統ある学校であると実感しています。

子どもたちは、地域を学習材として調べたり、地域の方にお話を伺ったりすることを通して、地域と繋がり、理解を深めています。このような活動から、地域のよさに気づき、地域のためにできることを見つけ、将来、地域を支える役割を果たす大人になることを願っています。

コロナ禍から今年は少しずつ活動が再開する兆しが見えます。今後とも、地域そして、青少年育成委員会の皆様と共に、子どもたちの健やかなる成長を見守ってまいります。

地域と共に育む

杉並区立松庵小学校 校長 戸口 満



昨年の4月に松庵小学校に着任し、一年が経ちました。前年度まで同じ学校で副校長として3年間務めていましたので、この地域とのかかわりは4年目となります。その間、感染症の拡大に伴い、多くの事業も実施が叶わない状況が続いていましたが、この一年でようやく明るい兆しが見えてきました。

これまで、子どもたちの健全育成を図るために、「カヌー教室」を始めとして、様々な事業を計画し実施してくださっていることに心から感謝申し上げます。学校は地域の中に、地域と共にあります。多くの方が子どもたちにかかわり、つながることは地域の未来を創ることにつながっていると考えます。スローガンに「みんなの笑顔を地域に」とあるように、これからも笑顔の発信源になる活動をさらに充実させ展開していかれることを願っています。

令和4年度 事業報告

スケート教室

- 実施日：令和4年11月5日(土)
- 場 所：明治神宮外苑アイススケート場
- 参加者：小学生87名 中学生4名 委員28名
- 指導者：杉並区スケート連盟指導員 5名

朝7時の西荻窪駅、子どもたちが続々と集まってきます。全員目印の黄色いバンダナを巻くと、総武線に乗り千駄ヶ谷へ向かいます。3年ぶりのスケート教室です。



スケート場に着くとスケート靴に履き替えリンクへ向かいます。スケート連盟の方の指導のもと、経験のある子も初めての子も、まずは全員で転ぶ練習をします。最初はほとんどの子が、手すりにつかまり、恐る恐る進んでいますが、そのうち、コツを掴んだ子はリンクの端から端まで滑ったり、カラーコーンの周りをグルグル回ったり。子どもたちの上達ぶりには驚かされます。後半の自由滑走では、皆、楽しそうに滑ったり転んだり、あっという間に時間は過ぎていきました。帰りの電車の中では、「楽しかった」「また来年も来たいな」とたくさんの嬉しい感想を聞くことができました。

有害環境改善活動

- 実施日：令和4年11月11日(金)
12月9日(金)
- 場 所：高井戸第二小学校周辺
- 参加者：延べ 22名



前年度より取り組みを始めた「有害環境改善活動」では、引き続き地域パトロール&清掃を行いました。空き缶、たばこの吸い殻などを拾った他、公園では遊具のペンキの剥がれや子どもたちにとって危険な所がないかをチェックしました。きれいに見えても草木の茂みには、ガラスの破片や古い電池が落ちていました。子どもたちの環境をより良くするため、来年度は講師の先生をお呼びして勉強会も開きたいと思います。



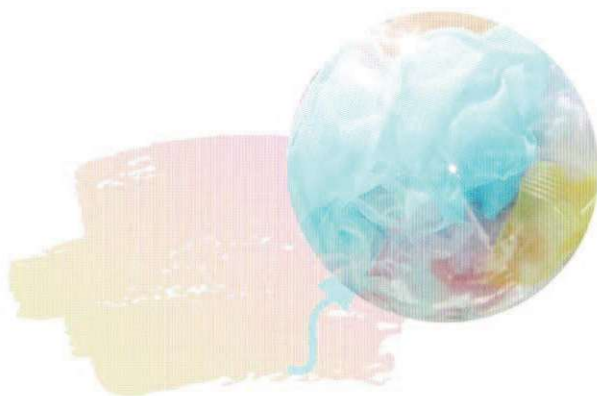
手づくり教室

雲をつかまえる！～ワタを染めてじぶん色の雲をつくろう～

- 実施日：令和4年12月4日(日)
- 場 所：高井戸第二小学校
- 参加者：小学生44名 委員20名
- 指導者：西村卓氏(アーティスト)
他2名(財団法人カルチュラルライツ)



3年ぶりに開催された手づくり教室は、アーティストの西村卓さんとカルチュラルライツの皆さんを講師に「雲をつかまえる！～ワタを染めてじぶん色の雲をつくろう～」というワークショップを行いました。まずは移動美術館に展示されたアート作品をみんなで鑑賞。大小様々な作品に子どもたちは興味津々でした。その後グループに分かれ、まずはワタを染料に入れて自分の好きな色に染めていきます。5色の中から選びワタを浸したらギュッと絞ります。染める作業もなかなかやる機会がないことなので貴重な体験でした。そしてワタを乾かしている間に自分の風船に用意された素材の中から好きなものを詰めていき、最後に自分で染めたワタを入れていきます。順番に空気を入れてもらう子どもたちはワクワク。



自分で思い浮かべていたイメージと実際に空気を入れてみた風船の違いも面白く、さらに素材を詰めて調整する子もいました。「森みたいにした!」「薄くてきれいな色を詰めた!」など、みんなそれぞれのこだわりをもった個性あふれる雲が出来上がりました。



委員研修

- 実施日：令和4年9月9日(金)
- 場 所：ニュースパーク(日本新聞博物館)
三菱みなとみらい技術館
- 参加者：委員10名

子どもたちの「体験教室」の实地踏査を兼ねて3年ぶりの委員研修に行ってまいりました。

日刊新聞発祥の地、横浜にあるニュースパークでは、展示やプログラムを通じて新聞の歴史を理解すると共に、取材体験ゲームに参加して新聞作りを学ぶことができました。

三菱みなとみらい技術館は、子どもたちが科学技術に触れ、夢を膨らませることの出来る施設です。

日常生活では触れる機会の少ないロケットや潜水調査船を間近に見ることで、科学技術の現在そして未来に出会うことが出来ました。

横浜中華街にて昼食をとり、委員相互の親睦を深める機会にもなりました。



◀ニュースパークのシンボル新聞を印刷する輪転機前にて

体験教室

令和5年1月9日(月・祝)「ニュースパーク(日本新聞博物館)と三菱みなとみらい技術館へ行こう!」が実施され、小学生18名、委員14名が参加しました。

20th

カヌー教室 20周年記念



令和4年9月23日、西宮中学校プールにて小学生54名、中学生ボランティア20名、委員20名が参加予定のところ、前日からの大雨で残念ながらカヌー教室は中止となりました。20周年を記念し、育成委員会だより「みやまえ」のバックナンバーをもとにカヌー教室のDVDを作成しました。記念すべき第1回は埼玉県長瀨アウトキャンプ場にて「自然体験デイキャンプ2000年この夏カヌーに乗ろう」のタイトルで行われました。DVDには、白黒からカラー版20年分のカヌー教室の軌跡が収録されています。ご覧になりたい方はお気軽に育成委員会までお声かけください。



*青少年育成委員会とは・・・

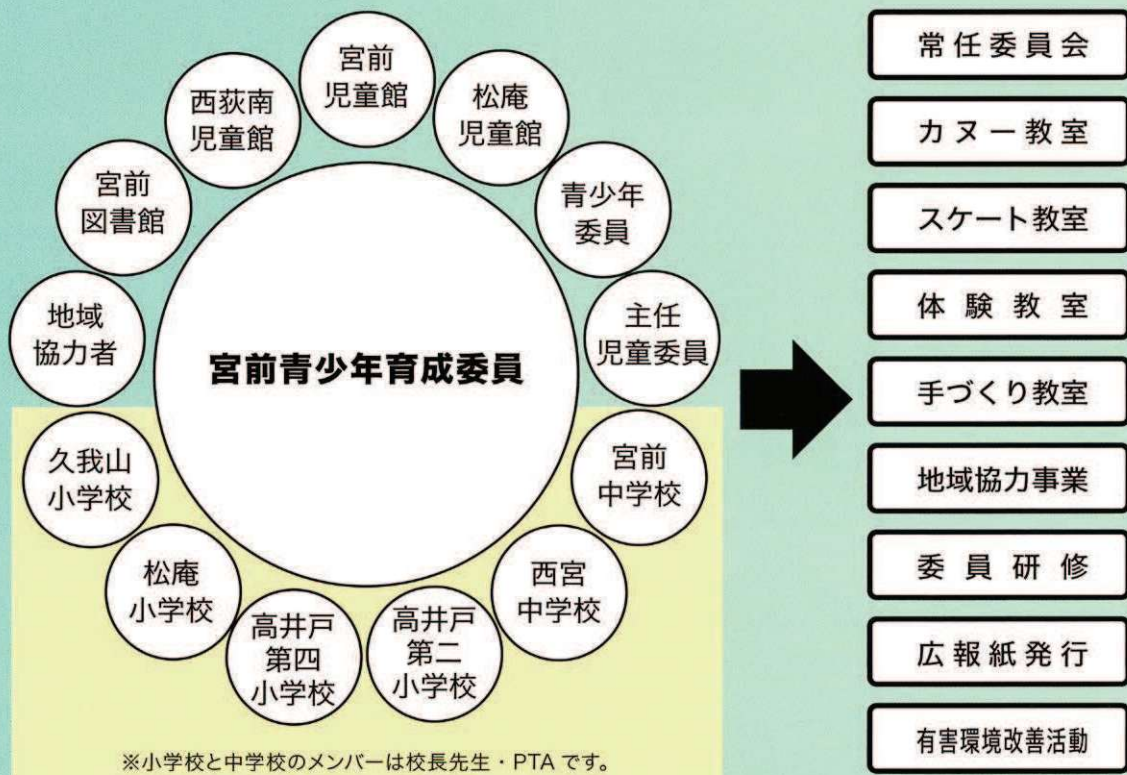
現在杉並区には17カ所の育成委員会があり、地域社会に根ざした自主的団体として、地域社会の総力を結集し、青少年の健全育成を図ることを目的として活動しています。

青少年の余暇を利用したの文化的・スポーツ的な諸行事の実施や、青少年に有害な社会環境浄化のための非行防止及び啓発活動、青少年問題に関する地域的な広報紙の発行、地域の各種団体の連絡調整活動などを行う委員会です。

私たち宮前青少年育成委員会は「みんなの笑顔を地域に！」をスローガンに活動しています。



【宮前青少年育成委員会 組織図と主な活動】



地域協力事業

- 高井戸第二小学校PTA
- 高井戸第四小学校PTA
- 松庵小学校PTA
- 西宮中学校PTA
- 宮前児童館
- 西荻南児童館
- 松庵児童館

- 『花火鑑賞会』
- 『高四ウォーターフェスティバル2022』
- 『松庵親子夏まつり』
- 『西宮冒険記アドベンチャー』
- 『みやまえ秋のなぞときウォークラリー』
- 『西荻南防災子どもまつり』
- 『わくわく工作週間』

- 12月 3日
- 8月27日
- 7月15日・16日
- 11月26日
- 10月15日
- 10月16日
- 10月11日～14日

みやまえ秋のなぞとき
ウォークラリー



ご着任の副校長先生にきいてみました

- ①自己紹介
- ②子どもの頃の思い出

■杉並区立久我山小学校
副校長：吉川 昇



① 今年4月に久我山小学校に副校長として着任いたしました。久我山小学校は、閑静な住宅街にあり、学校の中にも樹齢の高い木がたくさんあり落ち着きます。そこで生活する子供たちは、とても素直で優しいなと感じました。今後も地域とともに子供たちを育てていきたいと思っています。

②小学生の頃は、柔らかいボールを手で打つ、「手打ち野球」を友達とよくやっていました。日が暮れるまで公園で遊ぶのが日課でした。

■杉並区立松庵小学校
副校長：鈴木 利子



①令和4年4月に区内の大宮小学校より副校長として着任しました。職員室から見える広々とした校庭と緑豊かな木々の風景は、私の好きな景色の一つになりました。今年は、少しずつではありますが、地域の方々に協力していただき行事を行えたことを嬉しく思っています。

②ソフトボールが盛んな地域で、小学校は全員地域のチームに所属し、1年生から練習に加わっていました。練習場所は、田植え前の田んぼだったり、校庭だったり様々でした。体を動かすことが大好きで、川滑りや堀歩きもよくしていました。今後ともよろしくお願いします。

■杉並区立西宮中学校
副校長：大金 泰光



①4月1日に西宮中学校に副校長として着任いたしました。3月末までは三鷹市立第五中学校で英語を担当し、野球部や英語部の顧問を務めていました。よろしくお願いいたします。

②小学生の頃の思い出は水泳です。夏になると友達を誘い、近所の川で泳ぐ毎日でした。川に潜りながら仲間と鮎や鰻などを捕まえたことが思い出に残っています。中学生の時にビートルズと出会い衝撃を受け、いつの間にか英語が大好きになっていました。いつかビートルズの出身地であるリヴァプールを訪問してみたいと思っています。

宮前青少年育成委員会 会長 多々納 誠子



今年度、3年ぶりのリアル総会開催で役員人事のご承認を経て、令和4年度より会長に就任させていただきました。校長先生を退職後に宮前育成会で会長として25年にわたり、地域の子どもたちの健全育成に携わってこられた熊澤前会長の思いを引き継いで、はや1年が経ちます。

宮前青少年育成委員会では、コロナ禍以前は、長瀬や小川町でのカヌー教室、筑波や館林の科学館、グリコ・JAL・スバルなどの工場を訪問する体験教室、科学工作や環境に配慮した作品を作る手づくり教室、神宮外苑に引率してのスケート教室など、子どもたちの思い出に残るイベントを企画実施してまいりました。それぞれの事業を管内4つの小学校の児童のために、2つの中学校の中学生ボランティアが手伝ってくれました。宮前育成会の伝統である「縦の繋がり」を大切に充実した地域活動を続けています。

今年度はこれらの活動を、コロナ対策しながら再開しています。これからも地域の子どもたちの笑顔が広がる活動を企画し、またボランティアにも参加しやすいように、役員や常任委員一同、地域委員の方々と協力していきたいと思っています。

令和4年度

宮前青少年育成委員

常任委員
【地域協力者】
【青少年委員】
【主任児童委員】

委員
【地域協力者】
【児童館・図書館】
【小・中学校/PTA】

個人情報観点より、名簿の公開は控えております